

ミッション

事業リスクを予防し軽減・低減する

私たちは、リスクを想定し、予防し、軽減・低減すると共に、危機が生じた場合でも、従業員、地球環境、資産、利益を守ります。

事業の継続と従業員の安心・安全を確保することは、ブリヂストングループの最優先事項です。潜在的なリスクを予測し、リスクの軽減・低減と適切な対応に努めることで、従業員の安心・安全を確保しながら、事業を継続し、お客様・地域・取引先様などへの責任を果たします。当社グループでは定期的に従業員向けの研修を実施すると共に、リスク管理とBCPを継続的に見直し、改善しています。

COVID-19感染拡大や自然災害、気候変動、地政学的紛争などの課題に世界中が取り組む中、さらに関心が高まる全社的リスク管理の一要素としても、このミッションは一層重要になります。当社グループにおいてもこうした課題の解決に積極的に取り組んでいきます。

推進体制

当社グループでは毎年、各地域及びグループ全体で直面する可能性のあるリスクを特定し、そのリスクに対してグループ全体だけではなく、事業・SBU・部門単位での責任者を明確にし、各地域に配置したリージョナルCROを中心に自律的かつ継続的にリスク管理(特定、予防、軽減・低減など)を行っています。また、経営上重大なリスク(経営リスク)に関しては、Global CEOの直接の指揮の下で対応する体制をとっています。

2016年には、グローバルサステナビリティコミティのもとに、BCP・リスクマネジメント・ワーキンググループ(WG)が設立されました。各SBUのメンバーから成るこのWGでは、ブリヂストングループの「グローバルリスク管理方針」に従い全社的リスク管理・危機管理・事業継続システムの継続的改善を実施しています。審議や取り組みを行う際は、リスク管理に関する国際標準規格であるISO31000を参照しています。

目標とKPI

当社グループは、BCP・リスクマネジメントのミッション達成に向け、次のような3つの目標やKPIを設定しています。

- ・ 危機管理及びBCPに関する要件の遵守率100%を目指し、2023年末までにグローバル危機管理訓練などを実施、危機対応能力を評価。
- ・ 2022年末までに当社グループのリスク特定・軽減・低減プロセスを100%文書化し、リスク管理プロセスを確立。
- ・ 2022年末までに気候変動を当社グループのグローバルリスク特定・管理プロセスに統合。ESG評価のモニタリングを継続し、気候変動に関するリスクと対応力を測定。

■ 主な取り組み

当社グループでは、前述の目標の達成に向け、経営層が十分な情報に基づきタイムリーかつ広範な意思決定が行えるよう、オペレーショナル・リスク管理プロセスを継続的に改善していきます。また、リスクの種類に応じて、各地域もしくはグローバルレベルでオールハザード型BCPの策定に取り組んでいます。オールハザード型BCPは、特定のシナリオを想定した計画ではなく、あらゆる脅威や脆弱性に対し、サプライチェーンの寸断を防止すべく組織機能ごとに計画を策定します。

2021年には、危機管理/BCPに関する共通定義とフレームワーク、SBU指針を策定しました。また、ITセキュリティ機能によるサイバーリスクへの対応や、緊急時の報告基準の更新を行いました。

当社グループは、リスク管理と危機管理及びBCPの枠組み強化に引き続き取り組んでいます。

詳しくは、[Webサイト](#)をご覧ください。

Topic: 気候・自然関連リスク管理とTCFD・TNFDへの対応

ブリヂストングループはTCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)に賛同しており、TCFD提言のフレームワークに沿って特定した気候関連リスクと機会を認識し、事業戦略への反映及び情報開示を進めています。これらのリスク及び機会への認識を踏まえ、カーボンニュートラル化及びサーキュラーエコノミーへの貢献促進に向けて環境中長期目標を策定し、バリューチェーン全体でのCO₂の排出量削減など、脱炭素社会への移行リスクの低減に取り組むと同時に、グアユールの事業化に向けた取り組みを通じた天然ゴム供給源の多様化など、適応策による物理リスクの低減についても取り組んでいます。

さらに、当社グループは**ビジネス・フォー・ネイチャー**や**企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB)**への参加を通じた従来の生物多様性保全活動に加え、2022年3月より**TNFD(自然関連財務情報開示タスクフォース)**フォーラムに参加しており、自然への影響及び依存度に関するリスクと機会を認識し、**ネイチャーポジティブ^{*1}**に向けた世界的な潮流を踏まえた複数の自然関連シナリオを考慮した評価を進めています。

*1 生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せること